

きずな

第20号

平成23年2月15日発行

住民パワーで町を活性化！

今年度6月より実施してきました、まちみがき人材パワーアップセミナーも終盤を迎え、各グループの事業成果を報告しました。

昨年8月に4グループに分かれ事業プランを発表、3万円の資金を元に事業を行ってきました。少ない予算で自分達の考えを形にする為に、どのグループも工夫を重ね、その成果はすばらしいものでした。当日は町の産業振興課長、企画政

まちみがき 人材パワーアップセミナー 成果報告会実施

策課副課長にも参加していただき、それぞれから「町で企画すると、実施までこぎつける事が難しく、だいたい企画倒れで終わってしまう事が多いので、ここまで実施出来たことは個人的にはうらやましいと思います。この先の活動に関して、町が資金を出せるかという点と財政的に難しいとしかいえません。」

「日本が一番安い印刷会社という事で、どこの印刷会社か逆に教えて欲しいくらいです。」

「など、ご感想をいただきました。資金的に許されるのであれば、町内の印刷屋に

今月の顔

時田真一さん



毎週木曜日のまちサポは、ほっと・けいきサロンの日です。会費制でカフェが開かれています。時田さんはそこでおいしいコーヒーを入れてくれます。時田さんがドリップし始めると、コーヒーのいい香りがまちサポ中に広がって幸せな気分になります。時田さんは、独学でコーヒーの入れ方を勉強したそうです。

このサロンは、市民活動団体の「ほっと・けいきピュア」が運営しています。時田さんもそのメンバーで、岬町から大網まで毎週通ってきています。第2木曜は、音楽カフェという事で音楽の好きな方も立ち寄ってきます。

熱のこもった発表に耳を傾ける参加者



報告をする、セミナー受講者



第1回つまみ食いウォーク

どんなお店があるのか、商店の方のお話を聞きながら、みんなで商店を歩いてまわりました。

町の情報あつまれ！たまりば事業

町内の商店を紹介するフリーペーパー「あみナビ」を発行。初回はグルメ編ホームページもあります。

大網白里まちあるきお助けマップ

色々な所から出されている町歩きの情報を、1つのマップに集約して発行したいので、ご寄付を募ります。

まちの「特産品」を売りだそう！

町の特産品が一目でわかるようマークを作り、本町発祥のソフトみりん干しのアレンジ料理を作りました。

頼んだ方が、町の活性化には繋がるのですが、この活動の継続も含めてなかなか難しいものです。

各グループの内容は、左記の通り。どのグループとも、次の活動資金のためのスポンサーを探しています。ご協力頂ける方は、まちサポまでご連絡ください。よろしくお願いたします。

市民活動の活動紹介を

交流サロンで

現在、まちサポに登録している団体・個人の方は約三〇団体ほどあります。相互の交流のために、奇数月に交流サロンを行っていたのですが、ここではこれ迄活動紹介をする機会がありませんでした。そこで、それぞれの活動を紹介する場を、交流サロンの始めに行う事になりました。

それに先駆けて、町保健文化センターで活動紹介をした団体があります。

男女がともに担う地域づくりセミナーで、活動紹介をしました。



一月二十九日、まちづくりと男女共同参画の合同講演会で、関幸子さんの講演の後、まちづくりに関連する市民活動団体

の紹介のコーナーを町がセッティングしてくれ、まちサポの発表に続いて、「オーブンガーデン大網白里」大網日曜発明同好会」の代表がそれぞれの活動をパワーポイントを使って紹介し、活動の参加を呼びかけました。特に、発明同好会のユーモアの交まざった発表は、会場の笑いを誘っていました。

3月の交流サロンは、中央公民館講堂に場所を移して少し規模を大きくして行う予定で計画しています。発表していただく団体は、こちらで決めさせて頂きます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

APPLE BOY CAT

「忙しい子どもたち」

最近、ある子どもから「働いている大人ほど暇じゃない」という言葉を聞きました。働く大人は土日休みで暇だと思ってる反面、自分は土日もあるスケジュールや習い事・塾などの日程が詰まっています。忙しいことに閉塞感を感じていることが伺えます。大人もその忙しい子どもに付き合いつつながら、大人の日課もこなしているわけですから、いつそう忙しいのです。さて、今の子ども達のこの状況は、子ども達が望んで作っているのでしょうか？

子どものための考察

子ども達が大人になったときに、自分の子ども時代への思い出が、「忙しかったなあ。」だけになってしまわないような対応が大切ではないでしょうか。周りの状況に流されて、あれもこれも子ども達に要求していいか、ゆっくり見直してみることも必要かもしれません。

ベネッセの調査で子どもの生活を分析したものがあります。その中で「忙しいけど楽しい」と回答している小学生の割合は約80%、中学生で48.9%と半数弱です。この充実している子ども達の生活タイプは、学習時間が長く、部活や友達と過ごす時間が長い事が特徴です。この辺がヒントになりそうです。

(丸田)

まちサポ「交流サロン」開催

平成23年3月20日(日)

10:00~12:00

大網白里町中央公民館 講堂

★4団体の活動発表会

まちサポの登録団体や町のボランティア団体など、活動紹介をします。

★講演会

「市民活動・ボランティア活動について」広範囲にわたって実際に活躍されている方を講師に迎えてお話いただきます。

★交流会

グループに分かれて交流会をします。



子ども村で二つの体験活動

エコパーク大網白里子ども村では、この冬二つのイベントを開催し、たくさんの方が集まりました。



1月22日（日）冬の寒さが少し薄らいだ穏やかな日、今年一番のイベント、一般対象の上総掘りの体験会を実施しました。朝10時子ども村開村と同時に上総掘りに興味のある方が続々と集まってきました。丸田先生から上総掘りのミニ講習を受けた後、いよいよ体験です。竹のバネを利用するとしないとでは体力的な負担の違うことを実際に体験してその威力に驚き、ひご車の役割などテレビで見ただけではわからなかった事をたくさん経験でき感激した方が大勢いま

た。来年度は、各学校に呼びかけ子ども達に体験してもらう予定です。また、終わりの頃に、本業の方が見に来られて「素人でここまでできればたいしたものだ」とお褒めの言葉をいただきました。

続いて2月5日（土）3月のようなぽかぽか陽気の中、小学生中心に「火おこしでエコクッキング」を実施しました。山武歴史民俗資料館より火おこしの講師をお願いし、その火でお昼ご飯を作ろうという計画です。竹の筒にお米を詰めて竈にセットしたら、いよいよ火おこしに挑戦です。子ども達は一生懸命火だねを作りフーと息を吹きかけ火を付けました。このフーと長く息を出すのは、子どもには少し難しかったようです。竹のご飯も、豚汁もおいしく出来て野菜嫌いの子もおかわりをしていました。

今年のイベントは終わりましたが、子ども村は毎週土曜日に開村しています。遊びに来てください。



開村日 毎週土曜日 10時～15時 雨天は休村です

第4回 子育てフォーラム みんなで子育てしませんか？

PART2

平成23年3月13日（日）

13:00～15:30

中部コミュニティーセンター
2階 視聴覚室

みんなで思いの丈、話そうよ！

◎お子様の年齢に合わせて
グループトークをします。

◎お子様はお預かりします。

詳細・申し込みは
まちサポまで

やかつてと言うことらしいです。子安講のことを「犬供養」と言うところもありますが、これも犬のお産は軽いのでそれにあ

ているそうです。ければ早いほど、安産で早く生まれると言われ

だいて帰ります。分娩室に入ったら、家族がこ

娠している人はこの燃やされたろうそくをいた

さずにおまつりし、お参りに来られた方で、妊

安神社では、子安講の日はろうそくの火を絶や

が今も風習として続いているのです。山中の子

は鬼子母神信仰が盛んなどころで、そのなごり

「子安講」は、安産・子どもの健やかな成長を

これは、大網白里町山中「子安神社」のお話。

「子安講」は、安産・子どもの健やかな成長を

「子安講」は、安産・子どもの健やかな成長を

「子安講」は、安産・子どもの健やかな成長を

「子安講」は、安産・子どもの健やかな成長を

「子安講」は、安産・子どもの健やかな成長を

「子安講」は、安産・子どもの健やかな成長を

「子安講」は、安産・子どもの健やかな成長を

「子安講」は、安産・子どもの健やかな成長を

「子安講」は、安産・子どもの健やかな成長を

大網白里町の風習① 子安講

「子安講」は「犬供養」よく耳にするけど、それってなに？この地の風習を調べてみました。

考察 「新しい公共」

まちサポ理事 三澤清隆

「新しい公共」の考え方が難解だという意見があります。確かに文脈と語彙には普段みんなが使わない、難しい言い回しの表現があります、そこで特徴的な文言について、なるべく平易に分かりやすく考察してみたいと思います。

次の文章にもちょっと読んだだけでは、直ぐには分かりかねる文言があります。

「新しい公共」によって、「支え合いと活気のある」社会が実現すれば、ソーシャル・キャピタルの高い、つまり、相互信頼が高く社会コストが低い、住民の幸せ度が高いコミュニティが形成されるであろう。さらに、つながりの中で新しい発想による社会イノベーションが起これ、「新しい成長」が可能になるであろう。

ここでは、「ソーシャル・キャピタル」についての理解が必要です。「新しい公共」の創出には、ソーシャル・キャピタルの考え方と、イノベーションが「新しい公共」のキーワードになっています。

○『ソーシャル・キャピタルの高い』について。
➤人々が持つ「社会的なつながり」や「社会全体の人間関係の豊かさ」のことで、あまり可視化されない形で市民の間に存在している新しいタイプの「公共財」を指し、「自治のためのコ

ミュニティの発展には、市民の間のネットワークおよびそれによって生み出される善意、仲間意識、相互共感、信頼や互酬性、社会的交流のつながり等を一層深化させる規範を示す概念。」で、市民社会に存在する多種多様なネットワークの構築、それらのネットワークに個々の多様な市民が参加する、市民同士が自発的に協調し合う関係を築くことが「新しい公共」の推進には不可欠だとする考え方¹。

○『相互信頼が高く社会コストが低い』について

➤「新しい公共」を創出する思想は、官の領域にある公共サービス・公共的サービスをできるだけ民間に移して、イノベーション効果を高め新たな価値の創造と、地域社会（コミュニティ）の活性化・再生を図ることに他ならない。結果的に官の「高福祉高負担」でも「低福祉低負担」でもない、新しい公共がもたらす「社会コストの低コスト化と高満足社会」につながって、ソーシャル・キャピタルの高い社会が実現できる。

○『新しい発想による社会イノベーションが起これ』について

➤「新しい公共」から社会的に意義のあるまったく新しい考え方・仕組みを取り入れ、新たな価値を創出し、社会的に大きな変化をもたらすこと。

1 坂本治也・ソーシャル・キャピタルと活動する市民。

編集室より

大網白里町のいろいろな情報を、掲載したいと考えてはいるのですが、なかなか取材に歩けないでいます。皆様からの情報をお寄せくださると、取材にも行きやすいので、情報お待ちしております。



大網産千葉半立の落花生は、お土産にちょうどいい量です。どうぞご利用ください。
ポン菓子 一〇〇円
落花生 五〇〇円

今月から発売始めました、ポン菓子。大網で育ったコシヒカリに三温糖で味付けされていますのでおいしいです。ぽろぽろとして食べにくい方は、スプーンを使うと食べやすいです。また、コーンフレークのように牛乳をかけて食べるのもおすすめです。

まちサポショップから 今月のおすすめ



大網白里まちづくりサポートセンター

大網白里町大網 32-3
<http://machisapo.net>

TEL/FAX ; 0475-72-8278
E-mal:info@machisapo.net